

2023年9月21日

## Audi RS 6 Avant performance / RS 7 Sportback performance 発表

- Audi RS 6 Avant / RS 7 Sportback に究極のスポーツグレード RS performance を設定
- 4.0ℓ V型 8気筒ツインターボエンジンはターボチャージャーを大型化、ブースト圧 2.6bar にアップ
- 馬力 30PS、トルク 50Nm アップ。最大出力 630ps、最大トルク 850Nm を発揮

アウディ ジャパン（本社：東京都品川区、ブランド ディレクター：マティアス シェーパース）は、プレミアム アッパーミディアムセグメントに、究極のスポーツグレード Audi RS 6 Avant performance / RS 7 Sportback performance を発表。本日より全国のアウディ正規ディーラー（121店舗、現時点）を通じて発売致します。

### Audi RS 6 Avant / RS 7 Sportback に RS performance を設定

アウディのレーシングモデル、および究極のスポーツグレードを開発・製造・販売する Audi Sport GmbH による Audi RS 6 は、ハイパフォーマンスと日常走行における優れた利便性を兼ね備えたモデルとして、過去 20 年間、4 世代にわたって進化を続け、世界中のファンを魅了してきました。日本では 2003 年に初代モデル RS 6 が登場して以来、ツインターボチャージャーエンジンと quattro 四輪駆動システムの搭載が、すべての世代の Audi RS 6 に貫かれ、現在のモデルは第 4 世代目となります。また日本では、2013 年プレミアムアッパーミディアム 4 ドアクーペに RS 7 Sportback がラインアップされました。今回、Audi RS 6 Avant / RS 7 Sportback に代わり、両モデルに RS モデル史上最高のパワーと加速性能をもつ RS performance を設定。RS の後につけられる「performance」という名称は、RS モデルをさらにパワーアップしていることを意味しています。

### RS performance は 30PS、50Nm アップの最大出力 630PS、最大トルク 850Nm を発揮

Audi RS 6 Avant performance / RS 7 Sportback performance に搭載される 4.0 リッター V 型 8 気筒 TFSI ツインターボエンジンは、ターボチャージャーの大型化およびブースト圧を 2.4bar から 2.6bar に引き上げるにより、これまでの RS 6 Avant / RS 7 Sportback と比較して、30PS、50Nm アップの最大出力 630PS、最大トルク 850Nm を発揮。パワーアップに伴い、0-100km/h 加速は 0.2 秒早い 3.4 秒に向上しています。また、48V マイルドハイブリッドやエンジンの低負荷時に 8 つのシリンダーのうち 4 つのシリンダーを休止させるシリンダーオンデマンド(cod) を 8 速ティプトロニックと組み合わせることで、高性能と高効率を両立します。

Audi RS 6 Avant performance / RS 7 Sportback performance は RS ダイナミックパッケージを標準装備。これには、ダイナミックオールホイールステアリング、リアスポーツディファレンシャルが含まれ、最高速度が 250km/h から 280 km/h にアップ。駆動方式は quattro 四輪駆動。メカニカルセルフロックキングセンターディファレンシャルは、エンジンの駆動力を通常フロント 40% : リア 60% の比率でリアアクスル寄りに分配。路面状況に合わせて、より多くのトルクを自動的に適切なアクスルに伝えます。最大 70% をフロントアクスルに、あるいは最大 85% をリアアクスルに配分することでドライビングダイナミクスが向上し、卓越したトラクションと優れた推進力を実現します。さらにリアスポーツディファレンシャルが理想的なトルク配分を計算して、リアホイールにアグレッシブかつ可変的に分配することで、コーナリングのハンドリング限界で、アンダーステアを軽減することができます。

究極のスポーツグレードにふさわしい、より高いチューニングを施したRSアダプティブエアサスペンション スポーツと、低速では前輪と逆向きに後輪を切ることによって回転半径が縮小して取り回し性が向上させる一方、高速では前輪と後輪を同じ向きに切ることによって安定感のあるハンドリングを実現する4輪操舵システム、ダイナミックオールホイールステアリングを標準装備。これにより、ダイナミックな走りや快適性を両立します。また、コイルスプリングとダンピングコントロールサスペンションにダイナミックライドコントロール（DRC）を組み合わせたRSスポーツサスペンションプラスはオプションで選択可能です。

Audi RS 6 Avant performance / RS 7 Sportback performance のエクステリアは、ともにグロスブラックの3Dハニカム構造のシングルフレームグリルを採用。エクステリアカラーはRS performance専用色としてアスカリブルームエタリックを追加設定しています。また quattro 四輪駆動であることを想起させるフェンダーは、Audi A6 Avant / A7 Sportback に対して約40mm拡大。これらをはじめ、フロントドア、ルーフ、テールゲートなどを除いて、ボディ外板はRSモデル専用のデザインとなっています。また、フロントスポイラー、エクステリアミラーハウジング、フロントサイドフラップ、サイドシルインサート、フロントウインドウモールディング、ディフューザートリム、さらにRS 6 Avant performance はルーフレールがマットグレー仕上げとなります。また両モデルともに、Audi Sport 製21インチ10スポークスターデザインと275/35ZR21タイヤを組み合わせることにより、スポーティなイメージを高めています。

インテリアには、大型のアルミニウム製パドルシフトやヒーター機能付き3スポークステアリングホイールがスポーティーさを強調し、RSロゴが刻まれたバルコナレザーで仕立てたSスポーツシートは、コーナリング時にも身体をしっかりとホールドする機能性と上質な材料が醸し出す質感を両立します。高解像度液晶画面を備えた12.3インチバーチャルコックピットのRSモデル専用の表示メニューでは、中央にタコメーター/スピードメーターを配し、左右にパフォーマンスに関する情報を配するレイアウトに変更することが可能です。

そのほか、速度、アシスタンスシステム、ナビゲーションや警告といった情報を、ドライバーの直接視野に入るフロントウインドウ上に、マルチカラーで投影するヘッドアップディスプレイや、16個のスピーカーを搭載するBang & Olufsen 3Dサウンドシステムを標準装備するなど、パフォーマンスと共にあらゆる装備において、究極のスポーツグレードモデルにふさわしい仕様となっています。

モデル	エンジン	トランスミッション	駆動方式	ステアリング	車両本体価格（税込）
Audi RS 6 Avant performance	4.0ℓ V8 直噴 ツインターボチャージャー 630PS/850Nm	8速ティプトロニック	quattro	左/右	19,100,000円
Audi RS 7 Sportback performance	4.0ℓ V8 直噴 ツインターボチャージャー 630PS/850Nm	8速ティプトロニック	quattro	左/右	19,800,000円

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社  
 アウディ ジャパン 広報部

アウディ ジャパン プレスサイト  
<http://www.audi-press.jp/>

報道関係者お問い合わせ：  
<https://audi-press.jp/contact/>

お客様お問い合わせ：  
 アウディ コミュニケーション センター  
 0120 - 598106



---

アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントの自動車およびオートバイのメーカーです。グループに属するアウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティのブランドは、12カ国21か所で生産されています。アウディとそのビジネスパートナーは、世界100以上の市場に存在しています。2022年、アウディ グループは、161万台のアウディ、15,174台のベントレー、9,233台のランボルギーニ、および61,562台のドゥカティを販売しました。2022会計年度において、アウディ グループは総収益618億ユーロ、営業利益76億ユーロを達成しました。世界中で、アウディ グループでは2022年に87,000人以上が働き、そのうち54,000人以上がドイツのAUDI AGで働いていました。魅力的なブランド、新しいモデル、革新的なモビリティサービスにより、グループは持続可能で個性的なプレミアムモビリティプロバイダーへの道を着実に歩んでいます。

---